第 226 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録~~(案)~~

１．日時　　2017 年 9 月 15 日(月)　9:00～11:45
２．開催場所　豊橋商工会議所
　　〒440-8508　愛知県豊橋市花田町字石塚 42-1　404 会議室
３．出席者　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

田中委員長(東京都市大)	○	西川幹事(芝浦工大)	○	関口幹事(住友電工)	○
布施幹事補佐(電中研)	○	早瀬幹事補佐(富士電機)記	○		

１号委員（50 音順）

池田委員(原子力規制委員会)	○	岡本委員(富士電機)	×	小林委員(日立製作所)	×
近藤委員(日本ガイシ)	○	千綿委員(日立金属)	×	松村委員(日新電機)	×
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×	平野委員(東芝)	×	藤田委員(昭和電線)	×
穂積委員(豊橋技科大)	○	武藤委員(三菱電機)	×	八木委員(古河電工)	×
富澤委員 (ﾌｼﾞｸﾗ･ﾀﾞｲﾔｹｰﾌﾞﾙ)	×				

２号委員（50 音順）

岩本委員(東工大)	退	加藤委員(新潟大)	○	田中委員(早稲田大)	○
長尾委員(豊橋技術大)	○	早川委員(名古屋大)	○		

オブザーブ委員（50 音順）

蔵田委員(明電舎)	○	永田委員(兵庫県立大)	退	

４．提出資料

番号なし　第 225 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 (案)
DEI-226-1　電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-226-2-1　電気学会「極低温環境下の電気絶縁技術」調査専門委員会
　第 8 回委員会議事録
DEI-226-2-2　平成 30 年電気学会全国大会シンポジウム（案）提案用紙（極低温）
DEI-226-3-1　第 14 回　先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用
　調査専門委員会 議事録
DEI-226-3-2　第 15 回　先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用
　調査専門委員会 議事録
DEI-226-4-1　第 8 回「進化するテーラーメイドコンポジット絶縁材料に関する
　調査専門委員会」議事録
DEI-226-4-2　平成 30 年電気学会全国大会シンポジウム (案) 提案用紙 (テーラーメイド)
DEI-226-5　平成 29 年度誘電・絶縁材料研究会,技術委員会,その他行事予定(17-2 次案)
DEI-226-6　調査専門委員会フォローシート (2017 年度計画)
DEI-226-7　平成 29 年度 活動状況
DEI-226-8　第 49 回　電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案書（第一次案）
DEI-226-9　活動資金／戦略的事業予算申請に関するメール

５．議事内容

5-1.　議事録の確認・承認（早瀬幹事補佐）

資料：番号なし

224 回議事録の確認を行い、エディトリアル修正をもって承認された。

議事内容に関し、以下の議論・コメントがあった。

・委員の任期と交代

後任が未定の各委員（菱川委員，武藤委員）に対し、再度打診する（田中委員長）

・論文誌

論文誌「2018 の研究開発の動向と最前線」の原稿執筆に関し、ISEIM 各セッション座長に優秀論文のコメントをお願いしてあるため、各セッションの概要とし、田中委員長がまとめる。電気学会論文誌 ISEIM 特集号　2018/2〆切、2019/2 発行予定となる。各セッションの優秀論文（Oral 14 件＋MVP 8 件）に打診し、論文化をお願いする。公募は行わない。

・IEEE アドコム／ボードメンバー投票

田中委員長から誘電・絶縁材料技術委員会としてオフィシャルな連絡をする。

・ISEIM2017 関連事項

ISEIM 結果について現状報告があった。会計等詳細報告は次回予定。

総参加者数：253 名，発表件数 201 件（うち Oral　78 件）

予算（収入）：約 730 万円，支出：同左

IAC(アドバイザリーコミッティー)の中で、企業の Oral 発表が「企業宣伝」になっているものがあったとの報告あり、また Reject 件数について IAC 等で報告し投稿の選別を行っていること示すべきとのこと。

ISEIM 設営・運営上の反省点など、申し送り事項を残しておく。（両幹事補）

5-2. 名簿の確認（布施幹事補佐）

資料：DEI-226-1

委員名簿に関し、所属および連絡先の変更を確認した。

・退員について

2 号委員：岩本先生⇒調査専門委員会の解散をもって退員

オブザーバ委員：永田先生⇒電気学会技術報告書の発行をもって退員

5-3.　「極低温環境下の電気絶縁技術」調査専門委員会（早川委員）

資料：DEI-226-2-1，DEI-226-2-2

2017/7/6 電気学会

・CIGRE WG D1.64 の報告

・技術報告書作成関連

早川委員より、技術報告書の作成のためにストレージサービスの利用を検討しており、上手いやり方を共有したい旨の相談があった。（テーラーメイドで利用している可能性の高い今井さんに確認する）

・全国大会シンポジウム関連

H30 年シンポジウム提案資料が提出され、シンポジウムにつき DEIS として承認された。

技術委員会（田中委員長）から電気学会（A 部門運営委員会）に提案する。

※シンポジウム提案はタイトル、内容についても追記修正可能であるとのコメントあり

次回：2017/10/3　埼玉大学(研究室見学)

5-4. 先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用調査専門委員会（加藤委員）

資料：DEI-226-3-1，DEI-226-3-2

3/17 富山大学

・全国大会にて成果報告シンポジウム開催。

・新規調査専門委員会を 7 月設置予定を確認。

6/29-30 デンカ生研（新潟）

・インフルエンザ迅速検査器の製造見学を実施。

・誘電・絶縁/電子材料合同研究会開催。

7/28 富山大学

・新規調査専門委員会第一回の委員会を開催済

委員長より、馬場先生に DEIS に参加していただくよう呼びかけを行いたいコメントあり。

5-5.「進化するテーラーメイドコンポジット絶縁材料に関する調査専門委員会」（田中祀捷委員）

資料：DEI-226-4-1，DEI-226-4-2

4/17 早稲田大学

・各務記念材料技術研究所見学を実施。

・技術報告書の執筆計画・各章内容につき具体的議論が行われた。

7/19 電気学会

・全国大会シンポジウム関連

H30 年シンポジウム提案資料が提出され、シンポジウムにつき DEIS として承認された。

技術委員会（田中委員長）から電気学会（A 部門運営委員会）に提案する。

田中祀捷委員長より調査専門委員会は 2018/5 に解散を予定していること、後継委員会・委員長は未定だが、委員会からの提案があれば候補推薦を願う旨のコメントがあった。

5-6. A 部門運営委員会（布施幹事補佐）

資料なし

・EINA マガジン関連

EINA マガジン発行 II 協同研究委員会設置主意書が受理され、設置が承認された。

・IEEE サマースクール関連

IEEE 側より参加費等を日本側で扱ってほしいと依頼があり、電気学会共催の承認を取得した。⇒実際には IEEE 側の準備不足があり、テクニカル・コスポンサーとして開催。サマースクール報告と合わせて結果報告を行う。

・IEEE Xplore 掲載料関連

掲載料の請求可能性につき経緯を追って確認した。

①ISEIM の論文著作権は誘電絶縁の委員長が所有する。

②IEEE Xplore より掲載希望があり好意で掲載貢献していた。

（その際 IEEE Xplore 側に冊子体を購入してもらっており、DEIS にお金が入っていた）

③この経緯からこれまで ISEIM 論文の掲載料を請求される理由はなかった。

④IEEE Xplore の新担当となったファビアーニ先生はこの経緯を知らない可能性あり。

⑤掲載料を支払うと、同様の方式(好意での掲載貢献)をとっている他資料についても掲載料を請求される可能性があるため、慎重にすすめると判断している。
⑥現在掲載料（1000 ドル＋1 件あたり 1500 円程度）を払う必要があるかについて、東芝平野氏からファビアーニ先生に再度問い合わせ中。
⑦IEEE と IEEJ の覚書より、半額程度の支払いにとどまる見込みだが、誰がどのように支払うかにつき引き続き協議中。

5-7. その他行事予定の確認（西川幹事）
資料：DEI-226-5
・12/18-19 に空間電荷・コンポジット・量子化学計算の研究会を予定。会場未定のため調整する。(布施幹事補⇒今井氏)
・2018/1 予定のエレクトロニクスおよびフォトニクス先端ナノ材料・デバイス研究会（電子材料研究会との合同）はタイにて実施される。
・2018/1 予定の有機材料・薄膜・デバイス一般は未開催とする。
・2018/3/13 に九工大サテライトキャンバス（福岡天神）にて国際会議報告・学際分野・絶縁一般の研究会開催および DEI 技術委員会を予定する。(早瀬幹事補⇒小迫先生)
・2018 年絶縁シンポジウム開催地（愛媛県）の下見を計画する。(布施幹事補、門脇先生)

5-8.誘電・絶縁技術委員会フォローシートの確認(西川幹事)
資料：DEI-226-6
資料に沿い、各委員会の活動状況確認が確認された。
・極低温環境下の電気絶縁技術
2018/9 解散予定。次期委員会は現在未定であるとのこと。
・進化するテーラーメイド・コンポジット絶縁材料
2018/5 解散予定。次期委員会を企画してもらいたい旨のコメントがあった。
・インバータ駆動モータコイルの絶縁評価法調査専門委員会
2016/3 解散済。後継（熊田先生(東大)）を放電技術委員会にて立ち上げ予定とのこと。
・新調査専門委員会立ち上げ
小迫先生(九工大)を委員長とした調査専門員会を企画する提案があった。取り扱う題材として、パワーデバイス系、ナノコンポジット材料系の絶縁技術を中心に検討してほしい。田中委員長より小迫先生に打診する。

5-9. 誘電・絶縁技術委員会活動状況の確認(西川幹事)
資料：DEI-226-7
資料に沿い、各委員会の活動状況確認が確認された。研究会開催時などに発表件数・参加人数の連絡を頂きたいとのこと。

5-10. 第 49 回絶縁シンポジウム関連(布施幹事補)
資料：DEI-226-8
布施幹事補より開催提案書(第 1 次案)が提出され、開催概要につき確認した。
・開催日程
提案書では、2018/9/12(水)～14(金)としているが、A 部門大会(9/4-5 姫路)および B 部門大会(9/12-14 徳島)の日程を鑑み、2018/9/10(月)～12(水)に変更。現地実行委員長門脇先生に確認。

・発表件数・企画
発表予定件数　70 件
（一般講演 20 件、企画・産学連携 5 件、招待 3 件、ポスター35 件、SS7 件）
参加予定数　　75 名
　企画セッション⇒アセットマネジメント、劣化診断、ナノテクノロジー　他
　産学連携セッション⇒共同研究成果（実用化課題など、セッション内共通性は必要なし）
　MVP セッション⇒相互訪問、相互採点形式。優秀者に対して表彰
　SS セッション⇒最新の研究トピックスをポスター形式で、展示奨励（机椅子電源あり）
企画・アイデアを募集中であり、幹事団に連絡頂きたい。
・投稿スケジュール
　開催案内　2018/3
　申込〆切　2018/5/18
　採択　　2018/6/1
　原稿〆切　2018/7/20
　開催　　2018/9/10～12

5-11. 電気学会予算関連(田中委員長)
田中委員長より、電気学会活動資金申請および戦略的事業予算申請の案内があった。
・活動資金申請
次年度予算に合わせて申請(例年 9 月～10 月)する必要あり。
各調査専門委員会研究会における特別講演費用に充てる、などの意見が議論された。
詳細はメールベースで打ち合わせし、申請書を A 部門運営委員会に提出する。
・戦略的事業予算申請
部門にまたがる活動が望ましいとのこと。
B 部門・ケーブル技術委員会との共催若手セミナー開催、などの意見が議論された。

６．次回(第 227 回)技術委員会の開催
2017 年 12 月 18 日（月）　13：30～17：00
東京体育館会議室　〒151-0051　渋谷区千駄ヶ谷1-17-1

－　以上　－